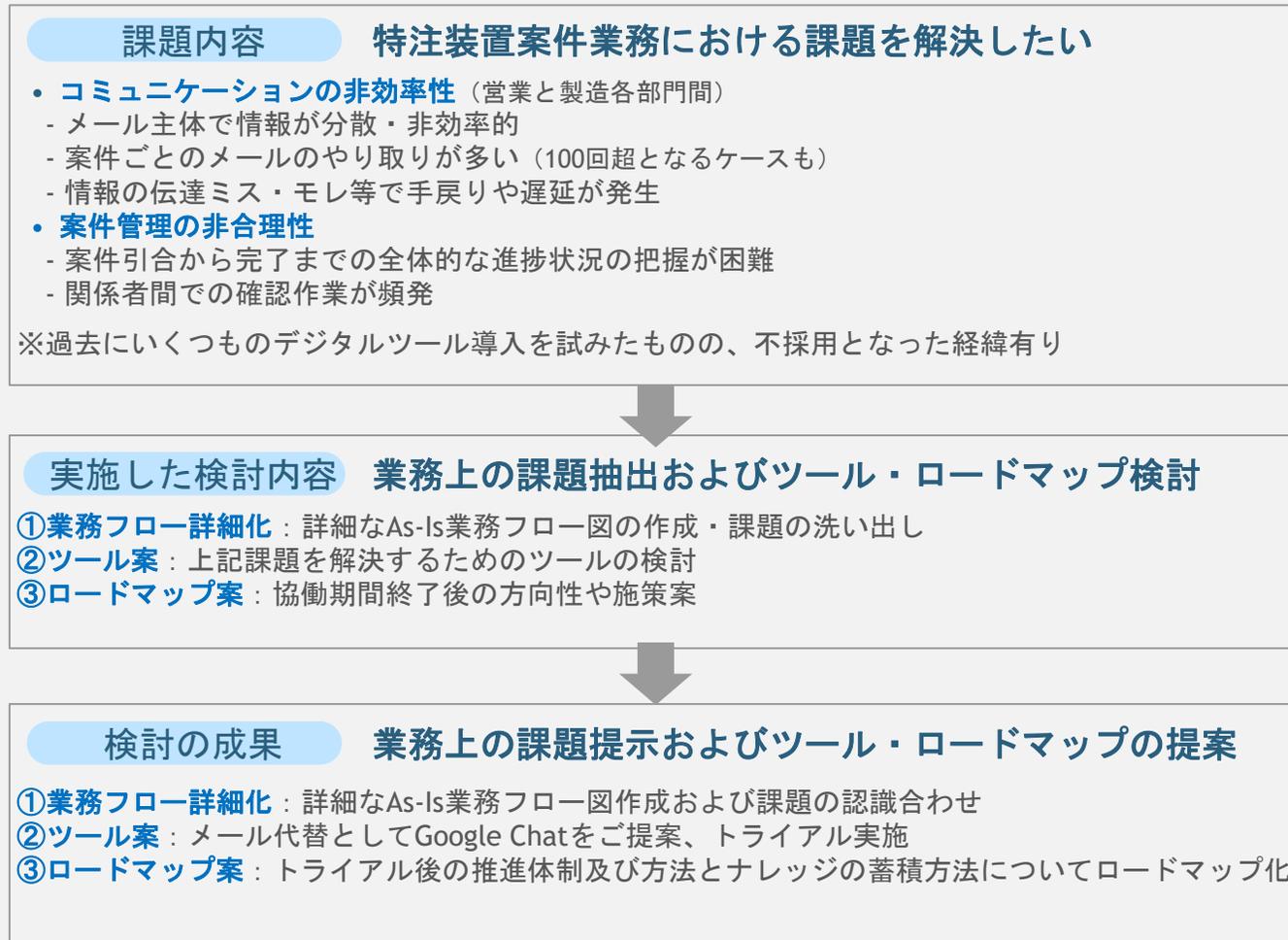


# 株式会社 旭製作所（製造業）：特注装置案件業務における課題解決支援

## 参加者

企業 <b>AG!</b> All Glass Innovations	社名	株式会社旭製作所
	業種	製造業（特殊ガラス製品）
	事業概要	高純度特殊ガラスの製造・販売を主とし、製薬業界や半導体業界に供給
	所在地 (都道府県)	熊本県
参加した受講生の概要 <b>DXる。</b>	チーム名	DXる。
	チーム人数	6名
	スキル・PR	ビジネスとITのバランス感やプロジェクト管理に強みを持ち、自走できるDX文化の醸成を目指して、ご支援いたします！
	進める中で工夫したこと	ご要望等をヒアリングしつつゴール設定を柔軟に対応。協働終了後も企業様にて自走できるような土台作りを意識。

## 実施概要



# 株式会社 旭製作所（製造業）：特注装置案件業務における課題解決支援

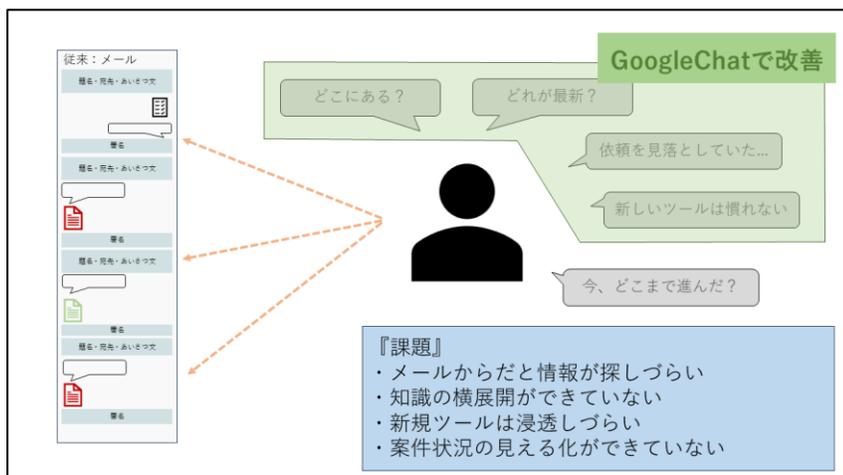
## 実施内容の詳細

### ①業務フローの詳細化

- 業務理解および業務フロー詳細化のため、関係部門へのヒアリング
- フロー図詳細化の過程であわせて課題を抽出

### ②ツールの導入

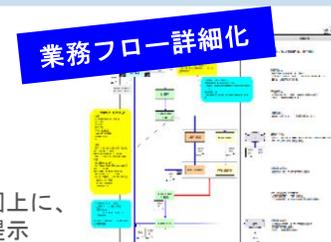
- 情報を適切に分離し、コミュニケーションの効率を上げる
- 段階的なツール導入により、定着化を図る
- ナレッジを蓄積する素地を作る



## 成果

### AsIs業務フロー図の作成、課題の可視化

- 詳細版AsIs業務フロー図（Excel）の作成・提示。
- 主としてコミュニケーションおよび属人性に関する課題を明示し、認識合わせを実施。



詳細化した業務フロー図上に、課題や改善案を記載し提示

### Google Chatの活用、運用方法の提案

- **Google Chatの導入**。メールに混在していた「チャット」「ファイル」「TODO」を分離して整理し、宛先・題名・署名といった不要な情報を削除することで、コミュニケーション効率を向上させる。また、案件ごとに表題を付け、一覧で管理できるようにした。
- **段階的なDX推進**の提案。過去のデジタルツール不採用の背景から、万能な新規ツールを使うのではなく、**最低限の機能**をカバーした慣れているツールを使用することで、定着化を図る。
- 見積書、仕様書の格納ルールや命名規則の実施を提案。今後、データの移行や新規ツールの導入・ナレッジの収集・AIの活用などを行う際に、**既存情報を活用しやすい状況**を作った。退職者が情報を抱えたままになることを防ぐ副次的な効果も。



# 株式会社 旭製作所（製造業）：特注装置案件業務における課題解決支援

## 実施内容の詳細

### ③ロードマップ

各種ヒアリングにおける顕在課題から推察した  
潜在課題の洗い出し

その他取組出来なかったテーマかつ本取組に  
親和性の高いテーマの選定

実現可能性の高いスケジュールリングと  
推進方針の提示

中期ロードマップにおける目指すべき  
方向性の明示

## 成果

### 中期ロードマップ策定とブレイクダウンしたスケジュールリングの提示

